

食農学類教員会議（第 36 回）審議事要録

日時： 令和 3 年 4 月 14 日（水） 13 時 30 分～15 時 40 分

場所： 食農学類研究棟 みらいホール（WEB 会議併用）

議事に先立ち、令和 3 年 4 月 1 日付で着任した教職員から挨拶があった。

【1. 審議事項】

1. 令和 4 年度（2022 年度）食農学類入学試験日程について
入試委員より、令和 3 年度入学者数及び令和 4 年度入試日程として資料 1-1 に基づき説明があり、了承された。
2. 令和 3 年度非常勤講師計画について
熊谷教務委員より、資料 1-2 に基づき説明があり、了承された。なお、未定者については講義日の 2 か月前までに申請願いたい旨、依頼があった。
3. 食農実践演習Ⅱ未修得者の食農実践演習Ⅲの履修制限について
熊谷教務委員より、資料 1-3 に基づき、「食農実践演習Ⅱ」を未修得の場合「食農実践演習Ⅲ」の履修登録を不可とする旨、提案があり、了承された。
4. 教員選考委員会の設置について
学類長より、資料 1-4 に基づき、4 月 7 日に人事委員会を開催し、「森林育成学」担当の後任人事として、教員選考委員会の設置及び公募要領の提案があり、了承された。

【2. 報告事項】

1. 運営会議（3/30、4/13）及び教育研究評議会（3/23）の報告について
学類長より、以下、報告があった。※資料は会議運営サイト参照
 - (1) 大学院改革について
 - ①大学院教育プログラム検討ワーキンググループの最終報告について、意見がある場合には 4 月 16 日までに寄せてほしい旨、説明があった。
 - ②大学院改革説明会として、4 月 21 日に開催される旨、説明があった。
 - (2) 内外地研究員制度について
食農学類は完成年度までは同制度の運用が難しいことから、完成年度後、優先的に当ててほしいという要望を依頼した旨、説明があった。
 - (3) 地方国立大学の定員増について
地方創生施策「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の一環として、地方国立大学の定員増の概要説明及び各学類への検討依頼があった旨、報告があった。学類長から、今後、本学類でも議論を行う必要がある旨、説明があった。
 - (4) その他

①令和2年度の勤務時間申告書の提出状況について説明があり、提出に協力
願いたい旨、説明があった。

②令和3年度福島大学重点研究分野「f o Rプロジェクト」の募集について説
明があった。

2. 危機対策本部会議の報告について

学類長より、「学生生活ガイドライン 2021」及び「教職員向け文書」が更新された
旨、また、対面授業再開に伴うキャンパス内巡視が再開された旨、報告があった。

3. 学生の異動（退学）について（資料：当日のみ）

熊谷教務委員より、資料2-3に基づき報告があった。

4. 進級判定の結果について

熊谷教務委員より、進級要件を満たさなかった者について担任・副担任が面談を行
い学類長へ報告した旨、その後、学類長の判断結果について報告があった。

5. 自己評価委員会(3/26)について

荒井評議員より、資料2-5に基づき報告があり、教員研究業績管理システムの登録
方法などについて説明があり、意見交換の後、確認された。

主な意見は以下の通り。

- ・評価結果に関する評価者のコメントについて
- ・評価結果の反映方法について

6. 福島大学農学群食農学類附属農場に関する内規の改訂について

荒井評議員より、資料2-6に基づき、農場の管理と農場実習の運営をそれぞれ分
離して行う必要があるため、関係教員等の意見を踏まえ、農場運営委員会の中に
農場管理部会を設けて運用していく旨、説明があり、確認された。

7. 令和3年度年度暫定予算編成について

予算編成ワーキンググループ松田教員より、資料に基づき令和3年度の暫定予算
の配分について説明があった。実際の予算配分は、令和2年度の決算も含め7月
の教員会議で審議予定である旨、説明があった。また、食農学類の収支状況の概
要及び予算編成を継続検討中である旨、説明があった。